

年 組 名前:

訪日客に書道、茶道教室

甲斐ゼミ、富士吉田にオープン



学習塾の甲斐ゼミナルを運営するサンキョー（望月英雄理事長）は、富士吉田市下吉田3丁目の下吉田教室内に、外国人観光客を対象とした書道と茶道の体験教室「ふじ茶や」をオープンした。欧米やアジア圏の観光客が訪れ、日本文化を楽しんでいる。また、高齢者ら地域住民が集える場としての活用も視野に入れている。甲斐ゼミの長田正樹校長は「学習塾の『教える』ノウハウを生かしながら、日本文化を発信したい」と話す。

〈渡辺真紗美〉

「教える」技術で文化発信

下吉田教室は本町通りに面しており、周辺は多くの外国人観光客が訪れる。日中は空いている学習塾の校舎を、社会教育活動に役立てようとして、1階入り口側の教室に書道と茶の間を入れて和風の空間に改装、5月上旬にオープンした。1階の他の教室2つ階は従来通り、学習塾の教室として使われている。

甲斐ゼミナル下吉田教室内にオープンしたインバウンド向け書道、茶道の体験教室「ふじ茶や」

〓 富士吉田市下吉田3丁目

て使う。

書道体験では色紙、うわね、扇の中からテーマと、書きたい漢字1文字を選ぶ。

講師が筆の持ち方や書き方を指導し、半紙で練習した後、色紙などに清書する。漢字は「夢」や「愛」「旅」など24文字から選べる。茶道体験は講師のお点前を見た後、お菓子と抹茶を楽しみ、実際に茶をたてる。道具の名称や茶道の歴史、季節を表現したおわんや掛け軸の見方なども解説する。

英語で指導し、英語、韓国語、中国語のリーフレットを用意。それ以外の言語の場合は翻訳アプリを使って説明する。

講師を務めるのは地元在住の大学生らで、書道の経験者や茶道の有資格者。チラシ作りやSNS運用などのPRも担当しており、「学生の起業体験にもつながっている」（同校）。望月理事長は「外国人だけでなく、高齢者ら地域の人も集える場になつてほしい」と話した。

料金は書道、茶道各3千円、両方の場合5千円。開講日は火曜、木、日曜の午前10時〜午後3時で、インスタグラムで告知している。4日午後3時から、ウアンフォーレ甲府元選手のハーフナー・マイクさんが茶道や書道を体験し、サイン会を開く。

問1

学習塾を運営する会社は、下吉田教室内に、だれを対象とした、なにができる教室をオープンしましたか。

.....
.....

問2

オープンにあたって、教室をどのように改装しましたか。

.....
.....

問3

この教室を始めた目的を教えてください。

.....
.....

(2024年6月4日付 山梨日日新聞5面)